



イネンちゃん



イネにゃん



今月の豆知識

～知っておきたいエネルギー用語②コージェネレーションシステム(熱電併給)～

天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステムです。詳細は、以下の資源エネルギー庁ウェブサイトをご覧ください。

http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/other/cogeneration/

災害対応 特集

北海道胆振東部地震における自家発電を活用した企業の事業継続・地域貢献事例を紹介します ～BCPの取組にご活用ください～

本年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震により、道内全域において大規模な停電が発生し、企業活動や国民生活に大きな影響が出ました。このような大規模停電の中でも、自家発電機確保によって営業を継続し、かつ地域貢献を実施した企業の取組事例をご紹介します。

詳細は当局ウェブサイトをご覧ください。<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/jirei/index.htm>

①北こぶし知床HOTEL&RESORT、KIKI知床ナチュラルリゾート(斜里町) 世界遺産の温泉街が協力した災害対策～大浴場の無料開放や簡易避難所の開設～

【主な事業】ホテル・温泉・飲食等

【発電に使用した燃料】A重油

【地域への取組】

- 強風や大雪による停電対策として、30年以上前から自家発電機を導入しており、地震時にも営業を継続。
- さらに、知床温泉旅館協同組合と連携し、域内ホテルとともに大浴場の無料開放や宴会場を開放して、簡易避難所を開設。
- 桑島社長は、「安心できるホテルであり続けるため、発電機は今後も必要。」と話す。



北こぶし知床HOTEL&RESORT

②そらちぶと調剤薬局(砂川市)

LPガス災害対応型設備によるBCP対策～停電時、市内において唯一営業を継続～

【主な事業】調剤、在宅支援等

【発電に使用した燃料】LPガス

【地域への取組】

- SNSを通じ携帯電話の充電サービス告知、受入
- 福地社長は、「発生時に地域住民に安心を届けたい、守りたいという思いもあった。非常用発電機を導入しておいてよかった。」と話す。



そらちぶと調剤薬局

③さっぽろ創世スクエア(札幌市)

天然ガスコージェネレーションシステムと地域熱供給による自立分散型エネルギー供給拠点
～観光客や帰宅困難者を受入～

【主な事業】オフィス・商業ビル

【発電に使用した燃料】天然ガス

【地域への取組】

- 札幌市と本ビルの「さっぽろ創世スクエア管理組合」が連携し、オープン前の札幌市民交流プラザを開放。観光客や帰宅困難者の受入や宿泊スペース、充電スポットなどを提供。
- 札幌市は、「今回の震災を受け、強靱化の観点からもエネルギーの取組をまちづくりと一体となって進めて行く必要性を改めて実感。」と話す。



さっぽろ創世スクエア

④湯の杜ぼっけ(豊富町)

豊富町産天然ガスによる自家発電で営業時間を拡大し、域内唯一の緊急避難所を開設
～24時間トイレ、フリーWi-Fi、ポット・電子レンジやラジオで住民・温泉客の不安を軽減～

【主な事業】カフェ・特産品販売、イベントスペース賃貸等

【発電に使用した燃料】天然ガス

【地域への取組】

- 豊富町温泉街で唯一停電を回避。域内が復電するまで営業を継続して、トイレ・水道・お湯・コンセントなどを無料開放。温泉街及び周辺町村に対してライフイン(電気・水道)と情報を提供し続けた。
- 工藤町長は、「安全、安心な地域拠点としての充実を図って参りたい。」と話す。



湯の杜ぼっけ

「J-クレジット活用セミナー2018 in 北海道」を開催します

経済産業省北海道経済産業局では、地域貢献しながらビジネスにつながる賢いJ-クレジット※の活用方法を紹介する自治体・企業向けセミナーを開催します。

J-クレジットを活用し全国初のCO2排出量ゼロの道の駅を運営するとともに、地方銀行と連携しJ-クレジット販売量を伸ばす鳥取県日南町の取組や、町で初めて創出したJ-クレジットを、町内企業が購入しCO2削減に役立てるなど、自治体と企業が連携した地域貢献の仕組みを構築する大樹町の取組などを紹介します。

※J-クレジット：企業等の省エネ機器等の導入による温室効果ガス（CO2）の排出削減・吸収量をクレジットとして国が認証したもの。

○開催概要

【日 時】平成30年12月6日（木）13：30～15：30

【場 所】札幌国際ビル8階「国際ホール」（札幌市中央区北4条西4丁目）

【定 員】100名（先着順・参加無料）

○主なプログラム

- ◆鳥取県日南町が取り組むCO2排出量ゼロの道の駅（鳥取県日南町）
- ◆宇宙のまち“大樹町”が始めた地球に優しい取り組み（北海道大樹町）

○詳細・申込方法

参加申込の方法等、詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/20181107/index.htm> <環境・リサイクル課>

「災害時の円滑な燃料供給体制実現に向けた検討会」を開催します

経済産業省北海道経済産業局では、平成30年9月の北海道胆振東部地震に伴い発生した燃料供給に係る様々な課題について、関係者間で共有するとともに、円滑な燃料供給体制の実現に向けた方策を検討する「災害時の円滑な燃料供給体制実現に向けた検討会」を開催します。

○開催概要（第1回）

【日時】平成30年11月13日（火）13:30～15:30

※今後、年度内に2回の開催を予定

【場所】北海道経済産業局 4階第2会議室

【参集機関】行政機関（北海道）、石油元売事業者、石油業関係団体、運輸関係団体、医療関係団体、通信・放送事業者



陸上自衛隊との災害時
燃料供給合同支援訓練

【議題等】①道内燃料供給体制の現状（事務局説明）

②地震発生時の燃料供給・調達の状況等について（意見交換）

<資源・燃料課>

「これからのエネルギーを考える2018」地域セミナーを開催します

経済産業省北海道経済産業局では、我が国におけるエネルギーの現状や将来の姿について、道民の皆様へ理解を深めていただくため、「これからのエネルギーを考える2018」地域セミナーを、10月24日からこれまで札幌のほか道内5カ所で開催してきたところですが、今後以下の3カ所で開催（参加無料）します。

開催地	日 時	場 所	定 員
北見市	11月15日（木） 14:30～16:00	北見高等技術専門学院 1階講堂 （北見市末広町356-1）	50名
旭川市	11月28日（水） 14:00～15:30	上川総合振興局 2階204会議室 （旭川市永山6条19丁目）	50名
帯広市	11月30日（金） 13:00～14:30	十勝総合振興局 3階講堂 （帯広市東3条南3丁目）	50名

※各会場、開始時刻30分前より受付開始

○プログラム

- ◆これからのエネルギー政策（第5次エネルギー基本計画）について
説明者：経済産業省（北海道経済産業局又は資源エネルギー庁）
- ◆北海道における新エネルギー導入拡大の取組
- ◆無理のない節電のお願いについて
説明者：北海道経済部環境・エネルギー室



○申込方法

当局ウェブサイトに掲載されている参加申込書に必要事項を記載の上、FAX、E-mail、郵送のいずれかの方法で以下申込先までお送りください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/20181010/index.htm>

○申込先

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
北海道経済部環境・エネルギー室 地域セミナー担当者
TEL：011-204-5361
FAX：011-222-5975
E-mail：keizai.kanene@pref.hokkaido.lg.jp



<総合エネルギー広報室>

問い合わせ先

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室

TEL：011-709-2311 内線：2634

E-mail：hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp